IRDB マッピング・エラーチェック・正規化ルール JPCOAR

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

No	項目名	項目名（日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化		エラーチェック		
															正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
1	Title	タイトル	dc:title		TRUE	M	1-N	コンテンツのタイトル。論文の場合、論題である。コンテンツ本文と同じ言語のタイトル情報はめず記入する。タイトルの言語情報はxml:langに記入する。	タイトル情報が複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのdc:titleの出現回数は1回までとする。 複数言語の場合は、dcterms:alternative（その他のタイトル）に記入する。コンテンツが図書の一部（章など）である場合、dc:title（タイトル）には章などのタイトルを記入し、図書全体のタイトルはjpcoar:relation（関連）に記入する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latn"とする。また、ヨミを記入する場合はヨミとは別にxml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">ジョウホウ バクハツ ジダイ ノ ケンキュウ キバン コウソウ</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Latn">Joho bakuhatsu jidai no kenkyu kiban kosc</dc:title> <dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> <dc:title xml:lang="zh-cn">"如果"句的反事实表达浅析</dc:title>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <dc:title>情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title> 複数言語の並列表記は推奨しない。 <dc:title xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle（収録物名）を使用する。 <dc:title xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑話)</dc:title> 同一言語指定の要素を繰り返してはならない。 <dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title> <dc:title xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title>		title	xml:lang属性は切り捨てる	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①要素がない。 ②xml:langが重複している。(xml:langがない場合も含む) ③xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。	①xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)	①xml:lang が存在しない。 ②1つ目のデータのxml:langが13 dc:language と異なる。（コードの違いを考慮）
2	Alternative Title	その他のタイトル	dcterms:alternative		TRUE	MA	0-N	目次タイトル、奥付タイトル等の本タイトル以外のタイトルを記入する。	その他のタイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。各言語コードのdcterms:alternativeの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。 本タイトルの言語語のタイトルはdc:title（タイトル）に記入する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latn"とする。また、ヨミを記入する場合はヨミとは別にxml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dcterms:alternative xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dcterms:alternative> <dcterms:alternative xml:lang="ja-Kana">データ マイニング ジセダイ サーチ ナド ノ ケンキュウ </dcterms:alternative>	複数言語の並列表記は推奨しない。 <dcterms:alternative xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dcterms:alternative> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle（収録物名）を使用する。 <dcterms:alternative xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑話)</dcterms:alternative>		title	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang=jaのデータが存在しない。 ②xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)	①xml:lang が存在しない。
3	Creator	作成者	jpcoar:creator		FALSE	MA	0-N	コンテンツの作成に責任を持つ個人または団体等。creator Typeにはコンテンツの作成に直接的に関りを持つものの役割を簡潔に記入する。	学位論文の場合は必ず入力する。複数の著者が存在する場合は、第一著者から順に記入する。コンテンツの作成に直接的に関与した者を作成者、間接的に関与した者を寄与者として明確に区別し、寄与者の役割である contributorTypeの統制語彙に該当する役割を持つ者は寄与者として記入する。	<jpcoar:creator creatorType="著"> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目, 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ, ソウセキ</jpcoar:creatorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:creator>				-	-			①14 dc:type=thesis|bachelor thesis|master thesis|doctoral thesis のとき、要素が存在しない。		
				creatorType	FALSE	O	0-1						-	-					
3.1	Creator Name Identifier	作成者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	作成者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000-0001-0003-0004 （ORCID）、30413925 (e-Rad_Researchers)、0000000378057894 （ISNI））。 nameIdentifierScheme にはID を識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない（例：https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ （NRID） https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 （ORCID） http://isni.org/isni/0000000082849737 （ISNI） https://viaf.org/viaf/56614190 （VIAF））。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	jpcoar:nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="orcid" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0002-3276-3753">https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>		creator		①全角 -> 半角			①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照）	
				nameIdentifierScheme	FALSE	M	1					e-Rad_Researcher NRID（非推奨） ORCID ISNI VIAF AID kakenhi（非推奨） Ringgold GRID（非推奨） ROR	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				① nameIdentifierScheme="NRID|kakenhi|GRID"が指定されている。
				nameIdentifierURI	FALSE	MA	0-1						-		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
3.2	Creator Name	作成者姓名	jpcoar:creatorName		TRUE	MA	0-N	作成者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓,△名」（カンマ＋半角空白）とする。英語表記のファーストネームが不明な場合は頭文字でもよい。ミドルネームがある場合は、「姓,△ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:creatorNameの出現回数は1回までとする。肩書きや役職、補足は記入しない。監修者や指導者のような間接的な役割の者はjpcoar:contributor（寄与者）を使用する。出版者はdc:publisher（出版者）を使用する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latn"とする。	<jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目, 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ, ソウセキ</jpcoar:creatorName>	langの指定がない記入は推奨しない。 <jpcoar:creatorName>夏目, 漱石 </jpcoar:creatorName>		creator	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)	①xml:lang が存在しない。
				nameType	FALSE	R	0-1	名前の種別を記入する。姓名に機関名を記入する際は「organizational（組織）」を選択する。				Organizational Personal	-					①語彙に存在しない。	
3.3	Family Name	作成者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	作成者の姓を記入する。作成者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:lang="ja-Latn"である。 ④xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)	①familyNameがあって、createrNameがない。
3.4	Given Name	作成者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	作成者の名を記入する。作成者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:lang="ja-Latn"である。 ④xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)	①givenNameがあって、createrNameがない。
3.5	Creator Alternative	作成者別名	jpcoar:creatorAlternative		TRUE	O	0-N	作成者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述方法および注意点はjpcoar:creatorName（作成者姓名）に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可能とする。	片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latn"とする。	<jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ②xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)	①createrAlternativeがあって、createrNameがない。
3.6	Affiliation	作成者所属	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	作成者の所属する機関名。		<jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation>			-						
3.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000000121921 78X （ISNI）、https://ror.org/057zh3y96（ROR））。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を統制語彙から選択して記入する。 nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式（例：https://isni.org/isni/0000000121691048、（ISNI） https://ror.org/057zh3y96 （ROR））で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier>		kakenhi（非推奨） ISNI Ringgold GRID（非推奨） ROR	-		①全角 -> 半角			①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照）	
				nameIdentifierScheme	FALSE	M	1						-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				① nameIdentifierScheme="kakenhi|GRID"が指定されている。
				nameIdentifierURI	FALSE	R	0-1						-		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
3.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部局名などで位階後の所属は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)	

1/9

IRDB マッピング・エラーチェック・正規化ルール JPCOAR

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

													正規化		エラーチェック			
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
4	Contributor	寄与者	jpcoar:contributor		-	R	0-N	コンテンツの作成に間接的に関わりを持つ個人または団体等。 contributorTypeには適切な役割を以下の統制語彙から選択して記入する。該当する役割がない場合は、"other"を選択する。 - ContactPerson - DataCollector - DataCurator - DataManager - Distributor - Editor - HostingInstitution - Producer - ProjectLeader - ProjectManager - ProjectMember - RelatedPerson - Researcher - ResearchGroup - Sponsor - Supervisor - WorkPackageLeader - Other		<jpcoar:contributor contributorType="Editor"> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="ja">東京大学</jpcoar:affiliationName> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:contributor> 研究データ（データ管理機関）の例 <jpcoar:contributor@contributorType="HostingInstitution"> <jpcoar:nameIdentifier@nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/03599d813</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja" nameType="Organizational">お茶の水女子大学		ContactPerson DataCollector DataCurator DataManager Distributor Editor HostingInstitution Producer ProjectLeader ProjectManager ProjectMember RelatedPerson Researcher ResearchGroup Sponsor Supervisor WorkPackageLeader Other	-						
				contributorType	FALSE	R	0-1						-	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
4.1	Contributor Name Identifier	寄与者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	寄与者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000-0001-0003-0004 （ORCID）、30413925 (e-Rad_Researchers)、0000000378057894（ISNI））。 nameIdentifierScheme にはID を識別するスキーマ名を統制語彙から選択して記入する。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない（例：https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ （NRID） https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 （ORCID） http://isni.org/isni/0000000082849737 （ISNI） https://viaf.org/viaf/56614190 （VIAF））。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier>https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>	e-Rad_Researcher NRID（非推奨） ORCID ISNI VIAF AID kakenhi（非推奨） Ringgold GRID（非推奨） ROR	contributor		①全角 -> 半角			①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照）	
				nameIdentifierScheme	FALSE	M	1						-	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				① nameIdentifierScheme="NRID|kakenhi|GRID"が指定されている。
				nameIdentifierURI	FALSE	MA	0-1						-	①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
4.2	Contributor Name	寄与者姓名	jpcoar:contributorName		TRUE	R	0-N	寄与者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓,△名」（カンマ＋半角空白）とする。英語表記のファーストネームが分からない場合は頭文字でもよい。ミドルネームがある場合は、「姓,△ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:contributorNameの出現回数は1回までとする。前書きや役割、補足は記入しない。著者や組織名等のような直接的な役割の者はjpcoar:creator（作成者）を使用する。出版者はdc:publisher（出版者）を使用する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latn"とする。	<jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <jpcoar:contributorName>山田, 一郎 </jpcoar:contributorName>		contributor	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①xml:lang が存在しない。
				nameType	FALSE	R	0-1	名前の種別を記入する。姓名に種関名を記入する際は「organizational（組織）」を選択する。				Organizational Personal (default)	-				①語彙に存在しない。	
4.3	Family Name	寄与者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	寄与者の姓を記入する。寄与者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:lang="ja-Latn"である。 ④xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①familyNameがあって、contributorNameがない。
4.4	Given Name	寄与者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	寄与者の名を記入する。寄与者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:lang="ja-Latn"である。 ④xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①givenNameがあって、contributorNameがない。
4.5	Contributor Alternative	寄与者別名	jpcoar:contributorAlternative		TRUE	O	0-N	寄与者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述方法および注意点はjpcoar:contributorName（寄与者姓名）に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可能とする。	片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latn"とする。				-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ②xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①contributorAlternativeがあって、contributorNameがない。
4.6	Affiliation	寄与者所属	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	寄与者の所属する機関。		<jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:nameIdentifier>			-						
4.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		-	R	0-N	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000000121921 78X （ISNI）、https://ror.org/057zh3y96 （ROR））。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマを以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi【非推奨】 - ISNI - Ringgold - GRID【非推奨】 - ROR。 nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式（例：https://isni.org/isni/0000000121691048 （ISNI） https://ror.org/057zh3y96 （ROR））で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:nameIdentifier>		kakenhi（非推奨） ISNI Ringgold GRID（非推奨） ROR	-		①全角 -> 半角			①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照）	
				nameIdentifierScheme	-	M	1						-	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				① nameIdentifierScheme="kakenhi|GRID"が指定されている。
				nameIdentifierURI	-	R	0-1						-	①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
4.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部局名など下位階層の所属は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
5	Access Rights	アクセス権	dcterms:accessRights		FALSE	MA	0-1	コンテンツのアクセス状態を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - embargoed access: エンバーゴ有 - metadata only access: メタデータのみ - open access: オープンアクセス - restricted access: アクセス制限有。 rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Access RightsのURIを記入する。	コンテンツのライセンスに関する情報はdc:rights（権利情報）を参照する。「embargoed access」の場合は、datacite:date（日付）のdateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	<dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_abf2">open access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_f1cf">embargoed access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_14cb">metadata only access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_16ec">restricted access</dcterms:accessRights>		embargoed access metadata only access restricted access open access	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
				rdf:resource	FALSE	M	1						-	①語彙に対応したURIを出力 (語彙別表参照)				
6	Rights	権利情報	dc:rights		TRUE	R	0-N	コンテンツの利用に関する権利情報を記入する。知的所有権や著作権等に関する情報を含む。ライセンス情報を記入する際にはライセンスの正式名とバージョン情報を記入する（例：Creative Commons Attribution 4.0 International）。その他の場合は、自由記述とするが、出版社等の権利者からの指定がある場合は、その指示に従う。ライセンスにURIがある場合、rdf:resourceにHTTP URI形式で記入し、再利用の条件を明示することを推奨する（例：https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en）。	ライセンス情報は短縮形で記入しない。各言語コードのdc:rightsの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dc:rights xml:lang="en"> rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">(c) ACM 2016. This is the author's version of the work. It is posted here for your personal use. Not for redistribution. The definitive Version of Record was published in http://doi.org/10.1145/123456789</dc:rights>	ライセンス情報を短縮形で記入しない。 <dc:rights xml:lang="en"> rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">CC BY 4.0</dc:rights> ライセンス情報のURIがある場合、記入を推奨する。 <dc:rights xml:lang="en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights> 異なるライセンス情報を1要素にまとめて記入しない。ファイル単位でライセンス情報が異なる場合は、別途メタデータレコードを作成する。ファイルの分類が困難な場合は、dc:rightsを繰り返して記入する。 <dc:rights xml:lang="en">CC BY 4.0 / Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights>		rights		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
				rdf:resource	FALSE	R	0-1						-	①全角 -> 半角			①URI形式チェック。	

2/9

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

														正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
7	Rights Holder	権利者情報	jpcoar:rightsHolder		-	R	0-N	作成者および寄与者以外の著作権等の権利保持情報を記入する。		<jpcoar:rightsHolder> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI= "http://isni.org/isni/0000000404381592">0000000404381592 </jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName> </jpcoar:rightsHolder>			rights	xml:lang属性は切り捨てる。					
7.1	Rights Holder Name Identifier	権利者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	権利者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000-0001-0003-0004（ORCID）、30413925 (e-Rad)、00000037807894（ISNI））。nameIdentifierScheme にはID を識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。- e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない（例：https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/（NRID）https://orcid.org/0000-0001-0002-0003（ORCID）http://isni.org/isni/0000000082849737（ISNI）https://viaf.org/viaf/56614190（VIAF））。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000404381592">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier>		e-Rad_Researcher NRID（非推奨） ORCID ISNI VIAF AID kakenhi（非推奨） Ringgold GRID（非推奨） ROR	-		①全角 -> 半角			①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照）	
				nameIdentifierScheme	FALSE	M	1						-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
				nameIdentifierURI	FALSE	R	0-1						-		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
7.2	Rights Holder Name	権利者名	jpcoar:rightsHolderName		TRUE	R	0-N	記述方法はjpcoar:creatorName（作成者姓名）に準じる。		<jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ②xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①xml:lang が存在しない。
8	Subject	主題	jpcoar:subject		TRUE	MA	0-N	コンテンツの内容を表す件名、著者キーワード、分類を記入する。分類はコードのみを記入する。subjectSchemeは以下の語彙を使用する。- BSH - DDC - e-Rad_field - LCC - LCSH - MeSH - NDC - NDLC - NDLSH - SciVal - UDC - Other。 subjectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない（例：https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/00575529）。	分類の項目名は記入しない。著者キーワードの場合subjectSchemeは"Other"を指定する。各言語コードのjpcoar:subjectの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。 科研費研究開発管理システム（e-Rad）の研究分野（主）：https://www.e-rad.go.jp/datasets/files/bunya_bunya.csv	片仮名ヨミ記入の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja-Kana" subjectScheme="Other">ショウホウカ シャカイ</jpcoar:subject> 分類コードの例 <jpcoar:subject subjectScheme="NDC">007</jpcoar:subject> 件名の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="NDLSH" subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/01009109">社会情報学</jpcoar:subject> 研究データの分野が「人文・社会」の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="e-Rad_field">人文・社会</jpcoar:subject> <jpcoar:subject xml:lang="en" subjectScheme="e-Rad_field">Humanities & Social Sciences</jpcoar:subject> 研究データの分野が「自然科学一般」の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="e-Rad_field">自然科学一般</jpcoar:subject> <jpcoar:subject xml:lang="en" subjectScheme="e-Rad_field">Natural Science</jpcoar:subject>			subject	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角（英数字のみ）（要素） ②全角 -> 半角（xml:langのみ） ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録) ②subjectSchemeが存在しない。 ③subjectSchemeの語彙に存在しない。 ④subjectSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照）	
				subjectScheme	FALSE	M	1					BSH DDC e-Rad_field JEL LCC LCSH MeSH NDC NDLC NDLSH SciVal UDC Other	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
				subjectURI	FALSE	MA	0-1						-		①全角 -> 半角				
9	Description	内容記述	datacite:description		TRUE	MA	0-N	コンテンツの内容を示す情報を記述する。データについては、技術的な情報等、他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。 descriptionTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。論文の抄録の場合は"Abstract"を選択する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other	datacite:descriptionを使用する場合、必ずdescriptionTypeを指定する。各言語コードのdatacite:descriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<datacite:description xml:lang="ja" descriptionType="Abstract">国立情報学研究所が提供する「共用リポジトリサービス」JAIRO Cloudは、いまやJAIRO Cloudを抜きに日本の機関リポジトリを語れないところまで普及している。本稿では、このJAIRO Cloudについて、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。JAIRO Cloudの特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。 </datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 朗, 加藤 篤士, 高橋 栞奈子, 山地 一禎. システム基盤としてのJAIRO Cloud. 大学図書館研究. 2016, vol.103, p.9-15.	descriptionTypeを省略してはならない。 <datacite:description xml:lang="ja" descriptionType="Abstract">国立情報学研究所が提供する「共用リポジトリサービス」JAIRO Cloudは、いまやJAIRO Cloudを抜きに日本の機関リポジトリを語れないところまで普及している。本稿では、このJAIRO Cloudについて、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。JAIRO Cloudの特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。 </datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 朗, 加藤 篤士, 高橋 栞奈子, 山地 一禎. システム基盤としてのJAIRO Cloud. 大学図書館研究. 2016, vol.103, p.9-15.		description	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録) ②descriptionTypeが存在しない。 ③descriptionTypeの語彙に存在しない。	
				descriptionType	FALSE	M	1					Abstract Methods TableOfContents TechnicalInfo Other	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
10	Publisher	出版者	dc:publisher		TRUE	R	0-N	コンテンツ本体を出版・公開した主体を記入する。名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。個人名については「姓,△名」とする。肩書きは記入しない。	名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。各言語コードのdc:publisherの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。 jpcoar:publisherDescription、dcndl:location、 dcndl:publicationPlaceを記入する場合は、jpcoar:publisherを使用する。	<dc:publisher xml:lang="en">Elsevier</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">日本物理学会</dc:publisher>	出版地は記入しない。 <dc:publisher>東京</dc:publisher> 機関の変遷前名称等、同一言語での異なる表記を記述してはならない。 <dc:publisher xml:lang="ja">日本建築学会 </dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">建築学会 </dc:publisher>		publisher	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
11	Publisher Information	出版者情報	jpcoar:publisher		-	O	0-N	コンテンツ本体を出版・公開した主体に関する情報を記入する。	名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。	<jpcoar:publisher> <jpcoar:publisherName xml:lang="ja">霞ケ関出版</jpcoar:publisherName> <jpcoar:publisherDescription xml:lang="ja">印刷</jpcoar:publisherDescription> <dcndl:location xml:lang="ja">東京</dcndl:location> <dcndl:publicationPlace>JPN</dcndl:publicationPlace> </jpcoar:publisher>			-						
11.1	Publisher Name	出版者名	jpcoar:publisherName		TRUE	O	0-N	コンテンツ本体を出版・公開した主体を記入する。 個人名の姓名の区切りは「姓,△名」（カンマ＋半角空白）とする。肩書きは記入しない。	略称ではなく正式名称を記入する。 作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。 役割等の補助的な情報はjpcoar:publisherDescriptionに記入する。 jpcoar:publisherDescription、dcndl:location、 dcndl:publicationPlaceを記入する場合は、本項目を入力することを推奨する。	<jpcoar:publisherName xml:lang="en">Elsevier</jpcoar:publisherName> <jpcoar:publisherName xml:lang="ja">日本物理学会</jpcoar:publisherName>	機関の変遷前名称等、同一言語での異なる表記を記述してはならない。 <jpcoar:publisherName xml:lang="ja">日本建築学会</jpcoar:publisherName> <jpcoar:publisherName xml:lang="ja">建築学会</jpcoar:publisherName>		-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
11.2	Publisher Description	出版者注記	jpcoar:publisherDescription		TRUE	O	0-N	コンテンツの出版者に関して、付記事項がある場合に記入する。	各言語コードのjpcoar:publisherDescriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<jpcoar:publisherDescription xml:lang="ja">印刷</jpcoar:publisherDescription> <jpcoar:publisherDescription xml:lang="ja">四・五編</jpcoar:publisherDescription>			-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
11.3	Publication Place	出版地	dcndl:location		TRUE	O	0-N	コンテンツ本体の出版地・頒布地を記述する場合に使用する。	国名コードはdcndl:publicationPlaceに記入する。 各言語コードのdcndl:locationの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dcndl:location xml:lang="ja">東京</dcndl:location>	出版者を例記しない。 <dcndl:location xml:lang="ja">霞ケ関出版, 東京</dcndl:location>		-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
11.4	Publication Place (Country code)	出版地（国名コード）	dcndl:publicationPlace		FALSE	O	0-N	コンテンツ本体の出版地・頒布地を国名コードを記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。 言語コードを記入しない。 出版地に関する国名コード以外の情報はdcndl:locationに記入する。	<dcndl:publicationPlace>JPN</dcndl:publicationPlace>			-		①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字			①語彙に存在しない。	

3/9

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

														正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名（日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
12	Date	日付	datacite:date		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はW3C Date and Time Formats で規定する形式（YYYY、YYYY-MM、YYYY-MM-DD、YYYY-MM-DDThh:mmTZD、YYYY-MM-DDThh:mm:ssTZD、YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sTZD）で記入し、日付の範囲はRKMS-ISO8601で規定する形式で記入する。dateTypeは以下の統制語彙から選択してedtf記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	Issued（発行日）がある場合は記入必須。その他の日付は関連する情報があればかならず記入する。dcterms:accessRights（アクセス権）で "embargoed access"を指定した場合、dateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	発行日 <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> エンバーゴ終了後の利用開始日 <datacite:date dateType="Available">2016-01-01</datacite:date> 日付の範囲がある場合 <datacite:date dateType="Collected">2004-03-02/2005-06-02</datacite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datacite:date>2015-10-01</datacite:date> 不明な年を記入してはならない。 <datacite:date dateType="Issued">19--</datacite:date>		date		①全角 -> 半角	①日付の正規化		①dateTypeが存在しない。 ②dateTypeの語彙に存在しない。 ③W3C Date and Time Formats、RKMS-ISO8601で規定される形式であるかのチェック。 ④MM-DD の妥当性チェック。（閏年含む）	①accessRights=embargoed access のとき、dateType=Available の date要素が存在しない。
				dateType	FALSE	M	1					Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
13	Date Literal	日付（リテラル）	dcterms:date		TRUE	O	0-N	コンテンツの作成、発行等のライフサイクルに関連する日付をリテラルに記入する。 datacite:date（日付）には、統制された方法により記録された日付情報を記入する。本項目では、統制された方法で記入することができない情報をリテラルに記入し、補完することができる。	西暦紀年はdatacite:date（日付）に記入する。 不明な日付を除き、datacite:date（日付）の記入を併せて行うことを推奨する。 コンテンツの内容に関する時間的範囲は、dcterms:temporal（時間的範囲）に記入する。	日付の年号表示 <dcterms:date xml:lang="zh-tw">崇禎17</dcterms:date> 日付の範囲の年号表示 <dcterms:date xml:lang="ja">宝暦年間</dcterms:date> 干支等による表示 <dcterms:date xml:lang="ja">寛政壬子</dcterms:date> 不明な年 <dcterms:date>19--</dcterms:date>	西暦紀年を補記する。 <dcterms:date xml:lang="ja">享和3(1803)</dcterms:date>		-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
14	Language	言語	dc:language		FALSE	R	0-N	コンテンツ本文で用いられている主な言語を記入する。ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロランゲージの使用は任意とする。	言語名を記入しない。国コードを記入しない。優先度の高い言語の順に記入する。	コンテンツ本文が英語 <dc:language>eng</dc:language> コンテンツ本文が英語と日本語 <dc:language>eng</dc:language> <dc:language>jpn</dc:language>	ISO 639-1は推奨しない。 <dc:language>ja</dc:language> 1要素に複数の言語を記入しない。 <dc:language>eng;jpn</dc:language> 大文字や全角文字を使用しない。 <dc:language>JPN</dc:language> <dc:language>ｅｎｇ</dc:language> 言語名を記入しない。 <dc:language>日本語</dc:language> 国名を記入しない。 <dc:language>US</dc:language> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dc:language>en_US</dc:language>		language		①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字	①言語コードの変換		①語彙に存在しない。	
15	Resource Type	資源タイプ	dc:type		FALSE	M	1	コンテンツの種類を資源タイプ語彙別表から選択して記入する。rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Resource Type（https://vocabularies.coar-repositories.org/resource_types/）のURIを記入する。	departmental bulletin paper（紀要論文）および article（記事）は、journal article（学術雑誌論文）のURIを記入する。	学術雑誌論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">journal article</dc:type> 紀要論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">departmental bulletin paper</dc:type> 博士論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_db06">doctoral thesis</dc:type> データセットの例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_ddb1">dataset</dc:type> 記事の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">article</dc:type>	rdf:resourceを省略してはならない。 <dc:type>departmental bulletin paper</dc:type>	資源タイプ語彙別表参照	type		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①要素がない。 ②語彙に存在しない。（資源タイプ語彙別表参照） ③doctoral thesisのとき、NDL博士論文提出チェックへ（別用）		
				rdf:resource	FALSE								-		①語彙に対応したURIを出力（資源タイプ語彙別表参照）				
16	Version	バージョン情報	datacite:version		FALSE	O	0-1	データの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号"."マイナーバージョン番号"の形式で記入することが望ましい。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation（関連情報）に旧バージョンとの関係性を記述する。論文のバージョン情報についてはoaire:version（出版タイプ）を使用する。	<datacite:version>1.2</datacite:version>	バージョンに番号以外の文字列を記入してはならない。 <datacite:version>ver 1.2</datacite:version>		-		①全角 -> 半角			①(0-9)+¥.(0-9)+以外の形式である。 ((数字)(ピリオド)(数字)の組み合わせ以外はエラー)	
17	Version Type	出版タイプ	oaire:version		FALSE	MA	0-1	論文のバージョン情報を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - AO: Author's Original - SMUR: Submitted Manuscript Under Review - AM: Accepted Manuscript - P: Proof - VoR: Version of Record - CVoR: Corrected Version of Record - EVoR: Enhanced Version of Record - NA: Not Applicable (or Unknown) rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR VersionのURIを記入する。	論文の場合、必ず記入する。データのバージョン情報についてはdatacite:version（バージョン情報）を使用する。	著者最終稿（査読後、最終的に出版社に受理された原稿）の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_ab4af688f83e57aa">AM</oaire:version> 出版社版の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_970fb48d4fbd8a85">VoR</oaire:version>		AO SMUR AM P VoR CVoR EVoR NA	type		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	①dc:type=journal articleのとき、oaire:versionが指定されていない。
				rdf:resource	FALSE	M	1						-		①語彙に対応したURIを出力（語彙別表参照）				
18	Identifier	識別子	jpcoar:identifier		FALSE	M	1-N	コンテンツを識別するユニークなIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：https://doi.org/10.18926/AMO/54590（DOI）http://hdl.handle.net/2115/64495（HDL）http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja/54559（URI））。 identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - DOI - HDL - URI	リポジトリコンテンツの自身のIDをを記入する。学術雑誌論文の出版社版等のDOIはjpcoar:relation（関連情報）に記入する。JaLC DOIを登録する場合は、jpcoar:identifierだけではなく、jpcoar:identifierRegistration（IR登録、ID種別）に登録するDOIを"prefix/suffix"形式で記入する。dataciteidentfierを記入する際にはかならずidentifierTypeを指定する。	<jpcoar:identifier identifierType="HDL">http://hdl.handle.net/2115/64495</jpcoar:identifier>			identifier		①全角 -> 半角		①要素がない。 ②identifierTypeが存在しない。 ③identifierTypeの語彙に存在しない。 ④URI形式チェック ⑤jpcoar:identifierRegistration があるとき、[prefix]/[suffix]が一致しない。		① jpcoar:identifier@identifierType="DOI"が存在するとき、同じ[prefix]/[suffix]がjpcoar:identifierRegistrationに入力されていない。 (jpcoar:identifierRegistration要素がない場合もおk)
				identifierType	FALSE	M	1					DOI HDL URI	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
19	Identifier Registration	ID登録	jpcoar:identifierRegistration		FALSE	MA	0-1	JaLC等へIDを登録する場合、記入する。identifierTypeには登録するサービス（DOIの場合はRegistration Agency）を以下の統制語彙から選択して記入する。 - JaLC - Crossref - DataCite - PMID（現在不使用）	リポジトリコンテンツの自身のIDはjpcoar:identifier（識別子）に記入する。"JaLC"または"Crossref"を選択した場合、junii2スキーマのselfDOIに相当する。JaLCでDOIを登録する場合は、jpcoar:identifierRegistrationだけではなく、jpcoar:identifier（識別子） identifierType="DOI"にDOIをHTTP URI形式で記入する。jpcoar:identifierRegistrationはJaLCとのデータ連携のためのみに使用される。	<jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">10.18926/AMO/54590</jpcoar:identifierRegistration>	URIスキーム"info:doi/"、"doi:"は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">info:doi/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration> DOIのURL表記は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">https://doi.org/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration>		-		①全角 -> 半角 ②先頭の"info:doi/"、"doi:"は削除する。		①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙に存在しない。 ③identifierTypeの語彙別のフォーマットを満たしていない（語彙別表参照）。 ④jpcoar:identifierRegistartionが存在するとき、同じ[prefix]/[suffix]を持つDOIがjpcoar:identifier@identifierType="DOI"として入力されていること。(identifierType="PMID"のときを除く) ⑤ identifierType="JaLC|Crossref|DataCite"のとき、JaLC DOI付与チェック（別用）		
				identifierType	FALSE	M	1					JaLC Crossref DataCite PMID（現在不使用）	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				

4/9

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

														正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
20	Relation	関連情報	jpcoar:relation		-	R	0-N	登録するコンテンツと関連するコンテンツ間の関連性を記入する。 relationTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。該当する語彙がない場合はrelationTypeを記入しない。 - inSeries - isCitedBy - Cites - isVersionOf - hasVersion - isPartOf - hasPart - isReferencedBy - references - isFormatOf - hasFormat - isReplacedBy - replaces - isRequiredBy - requires - isSupplementTo - isSupplementedBy - isIdenticalTo - isDerivedFrom - isSourceOf	シリーズ名を有するコンテンツで、シリーズタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。共通の特徴を有するデータセットシリーズに属するコンテンツで、データセットシリーズにリンクする場合は、relationType="inSeries"を用いる。著者最終稿から出版者が付与したDOIにリンクする場合は、relationType="isVersionOf"を使用する。 relationType="isCitedBy"および"Cites"は論文やデータの参考文献において直接的に引用される場合に使用し、 relationType="isReferencedBy"および"references"は直接的な引用ではなく情報源として用いられる場合に使用する。	学術雑誌の著者最終稿から出版社版へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isVersionOf"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> 研究データから当該研究データを根拠にした成果論文へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isSupplementTo"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="HDL">https://hdl.handle.net/1912/6236</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> 論文から根拠となった研究データへリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isSupplementedBy"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="HDL">https://hdl.handle.net/1912/4965</jpcoar:relatedIdentifier> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="HDL">https://hdl.handle.net/1912/4966</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> デジタル化資料から原資料へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isFormatOf"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="NCID">BC03765035</jpcoar:relatedIdentifier> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">一御題関方式省通乗明平方以下芝式有懸法</jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation> 原資料からデジタル化資料へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="hasFormat"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.20730/100344422</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> 共通の特徴を有するデータセットシリーズにリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="inSeries"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="URI">https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/collection/kokubunken</jpcoar:relatedIdentifier> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">総合図書館所蔵古典籍（国文研デジタル化分）</jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation> リンク先のコンテンツに識別子がない場合 <jpcoar:relation relationType="isPartOf"> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目指した中・高・大、日本人院生、外国人院生のティームティーチングによる支援</jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation>			-						
				relationType	FALSE	R	0-1					inSeries isCitedBy Cites isVersionOf hasVersion isPartOf hasPart isReferencedBy references isFormatOf hasFormat isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isSupplementTo isSupplementedBy isIdenticalTo isDerivedFrom isSourceOf	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
20.1	Related Identifier	関連識別子	jpcoar:relatedIdentifier		FALSE	R	0-1	関連するコンテンツの識別子を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：https://doi.org/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2（DOI））。 identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - ARK - arXiv - CRID - DOI - HDL - ICHUSHI - ISBN - J-GLOBAL - Local - PISSN - EISSN - ISSN【非推奨】- NAID【非推奨】- NCID - PMID【現在不使用】- PURL - SCOPUS - URI - WOS	対象に識別子が存在する場合は記入が望ましい。 jpcoar:relatedIdentifierを記入する場合は、必須。 identifierType="NCID"には収録物以外のNCIDを記入し、収録物のNCIDはjpcoar:sourceIdentifier（収録物識別子）を使用する。 identifierTypeに"ISSN"を設けるが、原則使用しない。PISSNまたはEISSNの判別が困難な場合に限って使用する。	<jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier>			relation					①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙に存在しない。 ③identifierTypeの語彙別のフォーマットを満たしていない（語彙別表参照）。	
				identifierType	FALSE	M	1					ARK arXiv CRID DOI HDL ICHUSHI ISBN J-GLOBAL Local PISSN EISSN ISSN（非推奨） NAID（非推奨） NCID PMID（非推奨） PURL SCOPUS URI WOS	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				①identifierType="ISSN|NAID|PMID"が指定されている。
20.2	Related Title	関連名称	jpcoar:relatedTitle		TRUE	R	0-N	関連するコンテンツのタイトルを記入する。	対象に識別子が存在する場合はjpcoar:relatedIdentifier（関連識別子）に記入する。該当する識別子が存在しない場合にはかず記入する。各言語コードのjpcoar:relatedTitleの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目指した中高大、日本人院生、外国人院生のティームティーチングによる支援</jpcoar:relatedTitle>			relation	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
21	Temporal	時間的範囲	dcterms:temporal		TRUE	O	0-N	コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。所定のスキーマに従って記入することが望ましい。	各言語コードのdcterms:temporalの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dcterms:temporal xml:lang="ja">奈良時代</dcterms:temporal> <dcterms:temporal xml:lang="en">A.D. 1800 - A.D. 1850</dcterms:temporal>			coverage		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
22	Geo Location	位置情報	datacite:geoLocation		-	O	0-N	コンテンツを収集した、またはコンテンツの内容の空間的情報を記入する。		ボックス状の空間的範囲を記述する例 <datacite:geoLocation> <datacite:geoLocationBox> <datacite:westBoundLongitude>-71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude>-68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:geoLocationBox> </datacite:geoLocation> 地名を記述する例 <datacite:geoLocation> <datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace> </datacite:geoLocation>			-						
22.1	Geo Location Point	位置情報（点）	datacite:geoLocationPoint		FALSE	O	0-1	コンテンツが指す空間の一点を記入する。					-					①datacite:pointLongitude、datacite:pointLatitudeが存在しない	
22.1.1	Point Longitude	経度	datacite:pointLongitude		FALSE	M	1	経度の値 。10進数で表す。範囲は-180～180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。				-		①全角 -> 半角			①数値であり、-180～180の範囲外である。（小数あり）	
22.1.2	Point Latitude	緯度	datacite:pointLatitude		FALSE	M	1	緯度の値 。10進数で表す。範囲は-90～90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。				-		①全角 -> 半角			①数値であり、-90～90の範囲外である。（小数あり）	
22.2	Geo Location Box	位置情報（空間）	datacite:geoLocationBox		FALSE	O	0-1	コンテンツが指すボックス状の空間的範囲を記入する。		<datacite:geoLocationBox> <datacite:westBoundLongitude>-71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude>-68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:geoLocationBox>			-						①datacite:westBoundLongitude、datacite:eastBoundLongitude、datacite:southBoundLatitude、datacite:northBoundLatitudeが存在しない	
22.2.1	West Bound Longitude	西部経度	datacite:westBoundLongitude		FALSE	M	1	西部経度の値。10進数で表す。範囲は-180～180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				-		①全角 -> 半角			①数値であり、-180～180の範囲外である。（小数あり）	
22.2.2	East Bound Longitude	東部経度	datacite:eastBoundLongitude		FALSE	M	1	東部経度の値。10進数で表す。範囲は-180～180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				-		①全角 -> 半角			①数値であり、-180～180の範囲外である。（小数あり）	
22.2.3	South Bound Latitude	南部緯度	datacite:southBoundLatitude		FALSE	M	1	南部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90～90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				-		①全角 -> 半角			①数値であり、-90～90の範囲外である。（小数あり）	
22.2.4	North Bound Latitude	北部緯度	datacite:northBoundLatitude		FALSE	M	1	北部緯度の値。10進数で表す。 範囲は-90～90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				-		①全角 -> 半角			①数値であり、-90～90の範囲外である。（小数あり）	
22.3	Geo Location Place	位置情報（自由記述）	datacite:geoLocationPlace		FALSE	O	0-N	コンテンツが指す地理上の地点の名称を記入する。		<datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace>			coverage						

5/9

IRDB マッピング・エラーチェック・正規化ルール JPCOAR

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

														正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
23	Funding Reference	助成情報	jpcoar:fundingReference		-	MA	0-N	コンテンツ作成の際に研究助成を受けた場合は、利用した助成金情報を記入する。		<jpcoar:fundingReference> <jpcoar:funderIdentifier funderIdentifierType ="Crossref Funder">https://doi.org/10.13039/501100000780</jpcoar:funderIdentifier> <jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName> <jpcoar:awardNumber awardURI="http://cordis.europa.eu/project/rcn/100603_en.html">284382</jpcoar:awardNumber> <jpcoar:awardTitle xml:lang="en">Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science</jpcoar:awardTitle> </jpcoar:fundingReference>			-					①jpcoar:funderNameが存在しない。	
23.1	Funder Identifier	助成機関識別子	jpcoar:funderIdentifier		FALSE	MA	0-1	助成主体の永続的な識別子をHTTP URI形式で記入する。 funderIdentifierTypeは統制語彙から選択して記入する。	Crossref Funder ID又たは資金配分機関コード（e-Rad_funder）の使用を推奨する。 Crossref Funder ID、e-Rad資金配分機関がない場合に限り、その他の識別子を記入する。 （参考）主な助成機関識別子：https://www.e-rad.go.jp/datasets/files/haibunkikan.csv	<jpcoar:funderIdentifier funderIdentifierType ="Crossref Funder" SchemaURI="https://www.crossref.org/services/funder-registry/"> https://dx.doi.org/10.13039/501100002241<jpcoar:funderIdentifier>			-		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②funderIdentifierTypeが存在しない。 ③funderIdentifierTypeの語彙に存在しない。 ④語彙別のフォーマットを満たしていない。	
				funderIdentifierType	FALSE	M	1	統制語彙 - Crossref Funder - e-Rad_funder - GRID - ISNI - ROR - Other				Crossref Funder e-Rad_funder GRID（非推奨） ISNI ROR Other	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				①funderIdentifierType="GRID"が指定されている。
				funderIdentifierTypeURI	FALSE	MA	0-1						-		①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換			①URI形式チェック。	
23.2	Funder Name	助成機関名	jpcoar:funderName		TRUE	M	1-N	助成機関等、助成を行った主体の名称を記入する。	jpcoar:fundingReferenceを記入する場合は、必須。 各言語コードのjpcoar:funderNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
23.3	Funding Stream Identifier	プログラム情報識別子	jpcoar:fundingStream1dentifier		FALSE	O	0-1	各資金配分機関内の助成カテゴリ（助成制度・事業等）の識別子を記入する。	Crossref Funder Registryは、組織（上位）＞組織（下位）＞プログラム情報＞・・・のように階層化登録されているため、プログラム情報に該当する識別子を記入する。 例) 文科省： http://dx.doi.org/10.13039/501100001700 ＞JST： https://doi.org/10.13039/501100002241 ＞ムーンショット型研究開発制度(JST)： https://doi.org/10.13039/501100020963 （参考）「体系的番号（https://www.nistep.go.jp/archives/53002）の「機関コード」と「施策・事業の特定コード」 を合わせたもの（例・科学技術振興機構（JST）のムーンショット型研究開発事業は、機関コードMJ、施策・事業の特定コードMSを合わせた「MJMS」を入力する）	<jpcoar:fundingStream1dentifier fundingStream1dentifierType="Crossref Funder">https://doi.org/10.13039/501100020963</jpcoar:fundingStream1dentifier> 体系的番号におけるプログラム情報コードの場合 <jpcoar:fundingStream1dentifier fundingStream1dentifierType="JGN_fundingStream" fundingStream1dentifierTypeURI="https://www.nistep.go.jp/archives/53002">MJMS</jpcoar:fundingStream1dentifier>		Crossref Funder - Crossref Funder Registryのプログラム情報識別子（下位） JGN_fundingStream	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
				fundingStream1dentifierTypeURI	FALSE	O	0-1					Crossref Funder: https://www.crossref.org/services/funder-registry/	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①URI形式チェック。	
23.4	Funding Stream	プログラム情報	jpcoar:fundingStream		TRUE	O	0-N	各資金配分機関内の助成カテゴリ（助成制度・事業等）の名称を記入する。		<jpcoar:fundingStream xml:lang="ja">ムーンショット型研究開発事業</jpcoar:fundingStream>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
23.5	Award Number	研究課題番号	jpcoar:awardNumber		FALSE	MA	0-1	研究課題番号を文字列で記入する。記述方法は助成団体による（例：JP15H02781 （科研費））。awardURIは、助成団体が提供している当該の助成に関する詳細情報をHTTP URI形式で記入する。科研費の場合は、KAKENデータベースの該当するページのURLを記入する。		<jpcoar:awardNumber awardNumberType="JGN">JP15H02781</jpcoar:awardNumber>			-				①awardNumberType="JGN"の時、体系的課題番号（Japan Grant Number）のフォーマットを満たしてない(語彙別表参照)。	
				awardURI	FALSE	MA	0-1						-		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。	
				awardNumberType	FALSE	MA	0-1					JGN - 体系的番号（Japan Grant Number）	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
23.6	Award Title	研究課題名	jpcoar:awardTitle		TRUE	MA	0-N	研究課題名を文字列で記入する。	各言語コードのjpcoar:awardTitleの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:awardTitle xml:lang="en">Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science</jpcoar:awardTitle>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
24	Source Identifier	収録物識別子	jpcoar:sourceIdentifier		FALSE	MA	0-N	収録物に付与された識別子を記入する。記述方法は選択した識別子に依存する。identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - PISSN - EISSN - ISSN［非推奨］ - NCID	ISSN、NCIDがある場合は必ず記入する。収録物以外のNCIDはjpcoar:relatedIdentifier（関連識別子）を使用する。junii2下位互換用の語彙としてidentifierTypeに"ISSN"を設けるが、原則使用しない。PISSNまたはEISSNの判別が困難な場合に限って使用する。	<jpcoar:sourceIdentifier identifierType="PISSN">1234-5678</jpcoar:sourceIdentifier> <jpcoar:sourceIdentifier identifierType="NCID">AN12345678</jpcoar:sourceIdentifier>			-		①全角 -> 半角 ②identifierType=[P|E]?ISSNのとき、パイプン統一			①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙に存在しない。 ③identifierTypeの語彙別のフォーマットを満たしていない（語彙別表参照）。	
				identifierType	FALSE	M	1					PISSN EISSN ISSN（非推奨） NCID	※折りたたみ編集の上、identifier	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				①identifierType=issnが指定されている。
25	Source Title	収録物名	jpcoar:sourceTitle		TRUE	MA	0-N	コンテンツの収録物のタイトルを記入する。	日本語雑誌名で和文、欧文コンテンツが混在する場合は、本文の言語に応じて雑誌名を表記することが望ましい。タイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのtitleの出現回数は1回までとする。言語表記ごとの繰り返しにする場合は、優先度の高い言語表記の順に記入する。	<jpcoar:sourceTitle xml:lang="ja">看護総合科学研究会誌</jpcoar:sourceTitle> <jpcoar:sourceTitle xml:lang="en">Journal of Comprehensive Nursing Research</jpcoar:sourceTitle>	収録物名の略称は推奨しない。 <jpcoar:sourceTitle xml:lang="en">Annu Rev Biochem</jpcoar:sourceTitle>		※折りたたみ編集の上、identifier（jpcoar:sourceTitleが複数ある場合、jpcoar:sourceTitleごとに繰り返し出力）		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
26	Volume Number	巻	jpcoar:volume		FALSE	MA	0-1	収録物の巻レベルを記入する。単位を表す語句（「巻」、「vol」、「号」、「年」など）は記入しない。巻号と通号の両者が存在する場合は、巻号を採用する。	号または通号のみをもつ場合は、巻レベルとし、jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま転記する。	<jpcoar:volume>1</jpcoar:volume>			※折りたたみ編集の上、identifier（jpcoar:sourceTitleが複数ある場合、jpcoar:sourceTitleごとに繰り返し出力）		①全角->半角 (英数字記号「_-.; ()/」のみ)			①1-32文字までのチェック。	
27	Issue Number	号	jpcoar:issue		FALSE	MA	0-1	収録物の号レベルを記入する。単位を表す語句（「号」、「issue」など）は削除する。	号または通号のみをもつ場合は、巻レベルとし、jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま転記する。号レベルより下位のレベルが存在する場合でも（例えばvolume3、issue2、part1 等の場合）、その下位レベルについては記入しない。	<jpcoar:issue>1</jpcoar:issue>			-		①全角->半角 (英数字記号「_-.; ()/」のみ)	①volumeがなく、issueがあるとき、issueをvolumeに移動する。		①1-32文字までのチェック。	
28	Number of Pages	ページ数	jpcoar:numPages		FALSE	MA	0-1	コンテンツの総ページ数を記入する。		<jpcoar:numPages>12</jpcoar:numPages>			※折りたたみ編集の上、identifier（jpcoar:sourceTitleが複数ある場合、jpcoar:sourceTitleごとに繰り返し出		①全角->半角 (英数字記号「_-.; ()/」のみ)			①1-100文字までのチェック。	
29	Page Start	開始ページ	jpcoar:pageStart		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物中における開始ページを記入する。開始ページと終了ページが同じ場合は、jpcoar:pageEndにも同様の値を記入する。巻（volume）の通ページと、号（issue）ごとのページの両方が存在する場合は、巻（volume）の通ページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:pageStart>1</jpcoar:pageStart>			※折りたたみ編集の上、identifier（jpcoar:sourceTitleが複数ある場合、他の折りたたみ要素と共に繰り返し出力）		①全角->半角 (英数字記号「_-.; ()/」のみ)			①1-100文字までのチェック。	
30	Page End	終了ページ	jpcoar:pageEnd		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物中における終了ページを記入する。開始ページと終了ページが同じ場合は、jpcoar:pageStartと同様の値を記入する。巻（volume）の通ページと、号（issue）ごとのページの両方が存在する場合は、巻（volume）の通ページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:pageEnd>12</jpcoar:pageEnd>			identifier		①全角->半角 (英数字記号「_-.; ()/」のみ)			①1-100文字までのチェック。	

6/9

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

														正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名（日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
31	Dissertation Number	学位授与番号	dcndl:dissertationNumber		FALSE	MA	0-1	学位授与番号を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。学博士論文の場合は、学位記番号ではなく報告番号を記入する。	<dcndl:dissertationNumber>甲第5384号</dcndl:dissertationNumber>	科研費機関番号（数字5桁）+[甲>A｜乙>B｜他>Z]+報告番号の形式（junii2 ver 3.0）は推奨しない。 <dcndl:dissertationNumber>15301A5384</dcndl:dissertationNumber> 科研費機関番号（数字5 桁）+[甲|乙|]+第+報告番号+号の形式（junii2 ver 3.1）は推奨しない。 <dcndl:dissertationNumber>15301甲第5384号</dcndl:dissertationNumber>		description	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角				
32	Degree Name	学位名	dcndl:degreeName		TRUE	MA	0-N	学位規則で定められている学位の種別と学位の分野を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。国際流通を鑑み、英語名称を合わせて記入することを推奨する。各言語コードのdcndl:degreeNameの出現回数は1回までとする。	<dcndl:degreeName xml:lang="en">Doctor of Philosophy in Letters</dcndl:degreeName> <dcndl:degreeName xml:lang="ja">博士（文学）</dcndl:degreeName>			date		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
33	Date Granted	学位授与年月日	dcndl:dateGranted		FALSE	MA	0-1	学位授与年月日を記入する。日付はISO-8601 で規定する次の 3 形式（YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY）で記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。	<dcndl:dateGranted>2016-03-25</dcndl:dateGranted>			-		①全角 -> 半角	①日付の正規化		①YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY形式であるかのチェック。 ②MM-DD の妥当性チェック。（閏年含む）	
34	Degree Grantor	学位授与機関	jpcoar:degreeGrantor		-	MA	0-N	学位授与機関の情報を記入する。	共同大学院の場合は、学生の籍がある大学を最初に記入し、繰り返して記入する。	<jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32653</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">早稲田大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>	共同大学院をひとつのjpcoar:degreeGrantorに記入することは推奨しない。 <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">3265332689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学早稲田大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>		-						
34.1	Degree Grantor Name Identifier	学位授与機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	学位授与機関を一意に識別する科研費機関番号を記入する。 jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeには"kakenhi"を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は、学位授与機関の科研費機関番号の記入が必須。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">15301</jpcoar:nameIdentifier>			-		①全角 -> 半角			①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②inameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照）	
				nameIdentifierScheme	FALSE	M	1					e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID	description	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
34.2	Degree Grantor Name	学位授与機関名	jpcoar:degreeGrantorName		TRUE	MA	0-N	学位授与機関の名称を記入する。学位授与機関名の言語情報はxml:langに記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">岡山大学</jpcoar:degreeGrantorName> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="en">Okayama University</jpcoar:degreeGrantorName>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
35	Conference	会議記述	jpcoar:conference		-	R	0-N	会議情報を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conference> <jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName> <jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence> <jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> <jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue> <jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace> <jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry> </jpcoar:conference>			-						
35.1	Conference Name	会議名	jpcoar:conferenceName		TRUE	R	0-N	会議名を記入する。	各言語コードのjpcoar:conferenceNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①xml:lang が存在しない。
35.2	Conference Sequence	回次	jpcoar:conferenceSequence		FALSE	R	0-1	会議の回次を記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence>			-						
35.3	Conference Sponsor	主催機関	jpcoar:conferenceSponsor		TRUE	R	0-N	会議を主催する機関名を記入する。	会議の開催会場はjpcoar:conferenceVenueに記入する。 各言語コードのjpcoar:conferenceSponsorの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①xml:lang が存在しない。
35.4	Conference Date	開催期間	jpcoar:conferenceDate		TRUE	R	0-1	会議の開催期間について、開始年月日および終了年月日を年（YYYY）、月（MM）、日（DD）の形式で各属性に、表示用の開催期間を後に記入する。 機械可読可能な日付（属性）と表示用の開催期間（値）の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。	会議の開催が1日のみの場合は、属性のstartDayとendDayに同一の日を記入する。	<jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> 値または属性のいずれかのみの場合 <jpcoar:conferenceDate startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016" /> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録) ②属性がフォーマット（YYYY、MM、DD）を満たしていない	
				startDay	FALSE	MA	0-1						-						
				startMonth	FALSE	MA	0-1						-						
				startYear	FALSE	MA	0-1						-						
				endDay	FALSE	MA	0-1						-						
				endMonth	FALSE	MA	0-1						-						
				endYear	FALSE	MA	0-1						-						
35.5	Conference Venue	開催会場	jpcoar:conferenceVenue		TRUE	R	0-N	会議が開催された会場を記入する。	会議の主催機関はjpcoar:conferenceSponsorに記入する。 各言語コードのjpcoar:conferenceVenueの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
35.6	Conference Place	開催地	jpcoar:conferencePlace		TRUE	R	0-N	会議の開催地を記入する。	会議の開催国はjpcoar:conferenceCountryに記入する。各言語コードのjpcoar:conferencePlaceの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace>			-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
35.7	Conference Country	開催国	jpcoar:conferenceCountry		FALSE	R	0-1	会議の開催国を記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。	<jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry>			-		①全角 -> 半角 ②英小文字 -> 英大文字			①ISO 3166-1 alpha-3形式になっていない。（語彙に存在しない）	
36	Edition	版	dcndl:edition		TRUE	O	0-N	主に図書資料の版に関する情報を記入する。	論文のバージョン情報についてはoaire:version（出版タイプ）、データのバージョン情報についてはdatacite:version（バージョン情報）を使用する。	一般図書の例 <dcndl:edition xml:lang="ja">改訂新版</dcndl:edition> 和古書の例 <dcndl:edition xml:lang="ja">宮城野の一部を改刻した改題本</dcndl:edition> 漢籍の例 <dcndl:edition xml:lang="ja">萬曆34年序重刻本の翻刻</dcndl:edition>			-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
37	Volume Title	部編名	dcndl:volumeTitle		TRUE	O	0-N	多巻ものの共通のタイトル(本タイトル)をdc:titleに記入した場合、各巻固有のタイトルはここに収める。 一つの連次刊行物が部又は編に分かれて刊行される時、その部又は編に付けられた部編名もここに収める。 巻次・部編番号の入力も可能とする。 各巻固有のタイトル及びその他の関連する情報、又は連次刊行物の部編名にヨミがある場合は、日本語のヨミは"ja-Kana"または"ja-Latn"を使用し、それぞれ片仮名、ローマ字で記入する。また、ヨミを記入する場合はヨミとは別にxml:langを"ja"にした情報を必ず記入する。	最大出現回数は定めず、一つの情報資源が複数の情報を持つ場合は要素を繰り返して、それらを全て収める。 部編名の一部に書誌的巻数を記述することを許容する。 原本の巻次・部編番号と、デジタル化した単位で付与された巻次・部編番号の記載が混在する可能性があるが、双方許容してよい。	<dcndl:volumeTitle xml:lang="ja">近畿.△2 三重・和歌山・大阪・兵庫</dcndl:volumeTitle> <dcndl:volumeTitle xml:lang="ja-Kana">キンキ.△2 ミエ ワカヤマ オオサカ ヒョウゴ </dcndl:volumeTitle>			-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	

7/9

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

														正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
38	Original Language	原文の言語	dcndl:originalLanguage		FALSE	O	0-N	コンテンツ本文が翻訳・翻案等で原文がある場合、その原文で用いられている主な言語を記入する。 ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロランゲージの使用は任意とする。	言語名を記入しない。 国コードを記入しない。 優先度の高い言語の順に記入する。 翻訳・翻案等が再翻訳・再翻案等である場合、直接の翻訳対象となった原文の言語を記入する。 原文とその翻訳が同時に収められている場合(対訳)は、両方の言語をdc:language（言語）、原文の言語をdcndl:originalLanguage（原文の言語）に記入する。 複製資料の場合は、複製の対象となった資料の言語ではなく、翻訳・翻案等に対する原文の言語を記入する。 例：以下の場合、Cがコンテンツ本文とすると、Cの原文の言語はAの言語である英語（eng）となる。 C.複製資料（Bを複製）：日本語（jpn） B.複製の対象となった資料（Aを翻訳）：日本語（jpn） A.翻訳・翻案等に対する原文：英語（eng）	コンテンツ本文の原文が英語 <dcndl:originalLanguage>eng</dcndl:originalLanguage> コンテンツ本文の原文が英語と日本語 <dcndl:originalLanguage>eng</dcndl:originalLanguage> <dcndl:originalLanguage>jpn</dcndl:originalLanguage> 対訳で原文が英語、翻訳・翻案等が日本語 <dc:language>jpn</dc:language> <dc:language>eng</dc:language> <dcndl:originalLanguage>eng</dcndl:originalLanguage>	ISO 639-1は推奨しない。 <dcndl:originalLanguage>ja</dcndl:originalLanguage> 1要素に複数の言語を記入しない。 <dcndl:originalLanguage>engjpn</dcndl:originalLanguage> 大文字や全角文字を使用しない。 <dcndl:originalLanguage>JPN</dcndl:originalLanguage> <dcndl:originalLanguage>ｅｎｇ </dcndl:originalLanguage> 言語名を記入しない。 <dcndl:originalLanguage>日本語 </dcndl:originalLanguage> 国名を記入しない。 <dcndl:originalLanguage>US</dcndl:originalLanguage> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dcndl:originalLanguage>en_US</dcndl:originalLanguage>		-		①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字	①言語コードの変換		①語彙に存在しない。	
39	Extent	大きさ	dcterms:extent		TRUE	O	0-N	情報資源の大きさ、付属資料等の、形態に関する情報をリテラルに記入する。	デジタル化資料のメタデータ記述には、原資料の大きさと個別ファイルの容量の両方が存在する可能性がある。個別ファイルのサイズについてはサイズ（jpcoar:extent）に記入する。 物理的な記録形式については物理的形態（jpcoar:format）に記入する。 付属資料を記載する際は「本体の記述△+△付属資料の記述」とする。	図版ありの場合 <dcterms:extent xml:lang="ja">図版△△19cm</dcterms:extent> 1枚での資料、横長の場合 <dcterms:extent xml:lang="ja">1枚△△92×172cm</dcterms:extent> 付属資料(CD-ROM)ありの場合 <dcterms:extent xml:lang="ja">22cm△+△CD-ROM1 枚（12cm）</dcterms:extent>				-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
40	Physical Format	物理的形態	jpcoar:format		TRUE	O	0-N	情報資源の物理的な記録形式をリテラルに記入する。	最大出現回数は定めず、一つの資料が複数の情報を持つ場合、それらを全て収める。 コンテンツの大きさや付属資料等は、大きさ（dcterms:extent）を使用する。 コンテンツのファイル形式はjpcoar:mimeType（ファイル形式）を使用する。	<dcterms:format>折本</dcterms:format> <dcterms:format>額物</dcterms:format> <dcterms:format>映入</dcterms:format>				-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
41	Holding Agent	所蔵機関	jpcoar:holdingAgent		-	O	0-1	当該情報資源または原本を保有する所蔵機関を記入する。		<jpcoar:holdingAgent> <jpcoar:holdingAgentNameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:holdingAgentNameIdentifier> <jpcoar:holdingAgentName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:holdingAgentName> </jpcoar:holdingAgent>			-						
41.1	Holding Agent Name Identifier	所蔵機関識別子	jpcoar:holdingAgentNameIdentifier		FALSE	O	0-1	所蔵機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000000121928X（ISNI）、https://ror.org/057zh3y96（ROR））。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi【非推奨】 - ISNI - Ringgold - GRID【非推奨】 - ROR - FANO - ISIL - MARC - OCLC。nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式（例：https://isni.org/isni/0000000121691048 （ISNI）https://ror.org/057zh3y96 （ROR））で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない。	jpcoar:holdingAgentnameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:holdingAgentnameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:holdingAgentNameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:holdingAgentNameIdentifier>		kakenhi（非推奨） ISNI Ringgold GRID（非推奨） ROR FANO ISIL MARC OCLC	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照）	
				nameIdentifierScheme	FALSE	M	1						-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				①nameIdentifierSchemeが指定されていない。
				nameIdentifierURI	FALSE	O	0-1						-		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
41.2	Holding Agent Name	所蔵機関名	jpcoar:holdingAgentName		TRUE	O	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部局名など下位階層の所属は記入しない。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:holdingAgentNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:holdingAgentName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:holdingAgentName>			-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
42	Dataset Series	データセットシリーズ	jpcoar:datasetSeries		FALSE	O	0-1	共通の特徴を有するデータセットの集合体である場合にTrueを設定する。データセットシリーズに属するアイテムからデータセットシリーズにリンクする場合はjpcoar:relation（関連情報）のrelationType="inSeries"を用いる。データセットシリーズからデータセットシリーズに属するアイテムにリンクする場合はjpcoar:relation（関連情報）のrelationType="hasPart"を用いる。	データセットとはデータの集合体を意味するが、デジタルアーカイブ等で見られる単一のデータについてもデータセットとみなし、その共通的特徴を有する集合体を表現するものとしてデータセットシリーズを使用できる。	<jpcoar:datasetSeries>True</jpcoar:datasetSeries>		True False	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
43	File	ファイル情報	jpcoar:file		-	MA	0-N	コンテンツ本体に関する情報。		<jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf">http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar:files/public/S/54590/2016110809253768 1027/70_5_331.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <jpcoar:extent>15 pages</jpcoar:extent> <dataciteｉdate dateType="Issued">2015-10-01</dataciteｉdate> </jpcoar:file> <jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="other" label="supplemental data">http://xxx.xxx.xxx.xxx/xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <dataciteｉdate dateType="Created">2016-01-01</dataciteｉdate> <dataciteｉversion>1.2</dataciteｉversion> </jpcoar:file>				-						
43.1	URI	本文URL	jpcoar:URI		FALSE	MA	0-1	コンテンツ本体ファイルのURIを記入する。 objectTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。- abstract - dataset - summary - fulltext - software - thumbnail - other labelには、ファイルの内容や機関等を簡的に記入する。	objectTypeはURIがある場合は必須。博士論文の場合、要約はsummary、要旨はabstractを使用する。 論文に付随する補足データ等はdatasetを使用する。	<jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf">http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar:files/public/S/54590/2016110809253768 1027/70_5_331.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:URI objectType="dataset" label="supplemental data">http://xxx.xxx.xxx.xxx/xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI>			identifier		①全角 -> 半角			①UR形式チェック。	
				objectType	FALSE	MA	0-1					abstract - 抄録・要旨 dataset - データセット fulltext - 全文 iiif - IIIFマニフェストURI software - ソフトウェア summary - 要約 thumbnail - サムネイル other - その他	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
				label	FALSE	O	0-1						-						
43.2	File Format	ファイルフォーマット	jpcoar:mimeType		FALSE	R	0-1	コンテンツのファイル形式を記入する。IANA に登録されている MIME メディアタイプから選択することを推奨する。	コンテンツの種類はdc:type（資源タイプ）を使用する。コンテンツの分量はjpcoar:extent（サイズ）を使用する。	<jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType>	MIMEメディアタイプ以外の形式で記入してはならない。 <jpcoar:mimeType>pdf</jpcoar:mimeType>		format		①全角 -> 半角			①MIME Typeの形式チェック（英数字、"-"、"."、"+"、"_"、"/"のみ、先頭と末尾以外に1つ以上の"/"。）	
43.3	Size	サイズ	jpcoar:extent		FALSE	O	0-N	ファイルサイズ、分量等の情報を記入する。自由記述。但し数値はアラビア数字を半角で記入する。	論文の開始ページはjpcoar:pageStart（開始ページ）、終了ページはjpcoar:pageEnd（終了ページ）を利用する。	<jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent>			-						
43.4	Date	日付	dataciteｉdate		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はW3C Date and Time Formats で規定する形式（YYYY、YYYY-MM、YYYY-MM-DD、YYYY-MM-DDThh:mmTZD、YYYY-MM-DDThh:mm:ssTZD）で記入し、日付の範囲はRKMS-ISO8601で規定する形式で記入する。dateTypeは以下の統制語彙から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	dcterms:accessRights（アクセス権）で "embargoed access"を指定し、コンテンツ本体の単位でエンバーゴ期間が異なる場合、dateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	発行日 <dataciteｉdate dateType="Issued">2015-10-01</dataciteｉdate> エンバーゴ終了後の利用開始日 <dataciteｉdate dateType="Available">2016-01-01</dataciteｉdate> 日付の範囲がある場合 <dataciteｉdate dateType="Collected">2004-03-02/2005-06-02</dataciteｉdate>	dateTypeを省略してはならない。 <dataciteｉdate>2015-10-01</dataciteｉdate> 不明な年を記入してはならない。 <dataciteｉdate dateType="Issued">19--</dataciteｉdate>		-		①全角 -> 半角	①日付の正規化		①dateTypeが存在しない。 ②dateTypeの語彙に存在しない。 ③W3C Date and Time Formats、RKMS-ISO8601で規定される形式であるかのチェック。 ④W3C DOI の形式チェック（開始年が	
				dateType	FALSE	M	1					Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
43.5	Version	バージョン情報	dataciteｉversion		FALSE	O	0-1	データのバージョン情報。コンテンツの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号"."マイナーバージョン番号"の形式で記入することが望ましい。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation（関連情報）に旧バージョンとの関係性を記述する。コンテンツ全体のバージョン情報については dataciteｉversion（バージョン情報）またはoaire:version（出版タイプ）を使用する。	<dataciteｉversion>1.2</dataciteｉversion>			-		①全角 -> 半角			①[0-9]+¥.[0-9]+の形式以外である。 (([数字]ピリオド[数字]の組み合わせ以外はエラー)	

8/9

IRDB マッピング・エラーチェック・正規化ルール JPCOAR

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

														正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
44	Catalog	カタログ	jpcoar:catalog		FALSE	O	0-1	デジタルアーカイブ等のデータベース単位の情報（カタログ情報）を記入する。IRDB利用機関は「コミュニティサポート by JPCOAR and NII」にカタログ情報を登録する。		<jpcoar:catalog> <jpcoar:contributor contributorType="HostingInstitution">> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja">>東京大学</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">>The University of Tokyo</jpcoar:contributorName> </jpcoar:contributor> <jpcoar:identifier identifierType="URI">>https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/ </jpcoar:identifier> <dc:title xml:lang="ja">>東京大学学術資産等アーカイブズポータル</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">>トウキョウダイガクガクジュツシサントウアーカイブズポータル</dc:title> <dc:title xml:lang="en">>UTokyo Academic Archives Portal</dc:title> <dataciteディスクリプション:description xml:lang="ja" descriptionType="Other">>東京大学学術資産等アーカイブズポータルは、「東京大学デジタルアーカイブス構築事業」により構築されたポータルサイトです。当事業によりデジタル化された資料だけでなく、これまで学内の様々な部局が個別にデジタル化し公開してきたコレクションを、横断的に検索することができます。 </dataciteディスクリプション:description> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">>書籍等</jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">>人文学</jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">>自然史・理工学</jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">>公文書</jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectScheme="Other">>文化財</jpcoar:subject> <jpcoar:license xml:lang="ja" licenseType="metadata" rdf:resource="https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/help/collection">>連携コレクション一覧</jpcoar:license> <dc:rights xml:lang="ja">>著作権の帰属はコレクションによって異なる</dc:rights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_abf2">>open access</dcterms:accessRights> <jpcoar:file><jpcoar:URI objectType="thumbnail">>https://xxx.xxx.xxx.xxx/xxx/thumbnail.jpg</jpcoar:URI></jpcoar:file> </jpcoar:catalog>			-						
44.1	Hosting Institution	提供機関	jpcoar:contributor		FALSE	MA	0-N	データベースの提供機関情報を記入する。		<jpcoar:contributor contributorType="HostingInstitution">> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja">>東京大学</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">>The University of Tokyo</jpcoar:contributorName> </jpcoar:contributor>			-					①jpcoar:contributorNameが存在しない。	
				contributorType	FALSE	R	0-1					HostingInstitution	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
44.1.1	Hosting Institution Name	提供機関名	jpcoar:contributorName		TRUE	M	1-N	データベースの提供機関名を記入する。					-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②英大文字 -> 英小文字（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
44.2	Identifier	識別子	jpcoar:identifier		FALSE	MA	0-N	データベースを提供するURI等を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：https://doi.org/10.18926/AMO/54590 （DOI）http://hdl.handle.net/2115/64495 （HDL）http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja/54559 （URI））。identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - DOI - HDL - URI		<jpcoar:identifier identifierType="URI">>https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/ </jpcoar:identifier>			-		①全角 -> 半角			①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙に存在しない。 ③URI形式チェック	
				identifierType	FALSE	M	1					DOI HDL URI	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
44.3	Title	タイトル	dc:title		TRUE	MA	0-N	データベースの名称を記入する。	名称が複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのdc:titleの出現回数は1回までとする。 片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latn"とする。また、ヨミを記入する場合はヨミとは別にxml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dc:title xml:lang="ja">>東京大学学術資産等アーカイブズポータル</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">>トウキョウダイガクガクジュツシサントウアーカイブズポータル</dc:title> <dc:title xml:lang="en">>UTokyo Academic Archives Portal</dc:title>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <dc:title>東京大学学術資産等アーカイブズポータル</dc:title> 複数言語の並列表記は推奨しない。 <dc:title xml:lang="jaen">>東京大学学術資産等アーカイブズポータル ＝ UTokyo Academic Archives Portal</dc:title>		-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①xml:lang が存在しない。
44.4	Description	内容記述	dataciteディスクリプション:description		TRUE	MA	0-N	データベースの内容を示す情報を記述する。descriptionTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other	dataciteディスクリプションを使用する場合、必ずdescriptionTypeを指定する。各言語コードのdataciteディスクリプションの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dataciteディスクリプション:description xml:lang="ja" descriptionType="Other">>東京大学学術資産等アーカイブズポータルは、「東京大学デジタルアーカイブス構築事業」により構築されたポータルサイトです。当事業によりデジタル化された資料だけでなく、これまで学内の様々な部局が個別にデジタル化し公開してきたコレクションを、横断的に検索することができます。</dataciteディスクリプション:description>			-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②英大文字 -> 英小文字（xml:langのみ） ③語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録) ②descriptionTypeが存在しない。 ③descriptionTypeの語彙に存在しない。	
				descriptionType	FALSE	M	1					Abstract Methods TableOfContents TechnicalInfo Other	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
44.5	Subject	主題	jpcoar:subject		TRUE	MA	0-N	データベースの内容を表す件名、分類を記入する。分類はコードのみを記入する。subjectSchemeは以下の語彙を使用する。 - BSH - DDC - LCC - LCSH - MeSH - NDC - NDLC - NDLSH - SciVal - UDC - Other。 subjectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない（例：https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/00575529）。	分類の項目名は記入しない。各言語コードのjpcoar:subjectの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	ジャパンサーチにおけるカテゴリの例 <jpcoar:subject subjectScheme="Other">>書籍等</jpcoar:subject> 分類コードの例 <jpcoar:subject subjectScheme="NDC">>007</jpcoar:subject> 件名の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="NDLSH" subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/01009109">>社会情報学</jpcoar:subject>			-		①全角 -> 半角（英数字のみ）（要高） ②全角 -> 半角（xml:langのみ） ③語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照） ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録) ③subjectSchemeが存在しない。	
				subjectScheme	FALSE	M	1					BSH DDC e-Rad LCC LCSH MeSH NDC NDLC NDLSH SciVal UDC Other	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
				subjectURI	FALSE	MA	0-1						-		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
44.6	License	ライセンス	jpcoar:license		TRUE	R	0-N	二次利用に関するライセンス情報について、ライセンスの正式名とバージョン情報を記入する（例：Creative Commons Attribution 4.0 International）。ライセンスにURIがある場合、rdf:resourceにHTTP URI形式で記入し、再利用の条件を明示することを推奨する（例：https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en）。ライセンス情報以外の知的所有権や著作権等に関する情報はdc:rightsに記入する。デジタルアーカイブのライセンスについては、メタデータ流通ガイドライン（https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_2/#9）を参照すること。 コンテンツに対する「解説」がメタデータに含まれ、メタデータと異なるライセンスを付与したい場合には、「解説」の記述に適用するライセンス情報を含めることにより区別を行うことを推奨する。	ライセンス情報は短縮形で記入しない。		ライセンス情報を短縮形で記入しない。 <jpcoar license xml:lang="en"> licenseType="metadata" rdf:resource="https://creativecommons.org/publicdomain/zero/1.0/deed.en">>CC0</jpcoar license>			-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②英大文字 -> 英小文字（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録) ②licenseTypeが存在しない。 ③licenseTypeの語彙に存在しない	
				licenseType	FALSE	M	1					file metadata thumbnail	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
				rdf:resource	FALSE	R	0-1						-					①URI形式チェック。	
44.7	Rights	権利情報	dc:rights		TRUE	R	0-N	知的所有権や著作権等に関する権利情報を記入する。ライセンス情報はjpcoar:licenseに記入する。自由記述とするが、出版社等の権利者からの指定がある場合は、その指示に従う。権利情報にURIがある場合、rdf:resourceにHTTP URI形式で記入し、条件を明示することを推奨する。	各言語コードのdc:rightsの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dc:rights xml:lang="ja">>著作権の帰属はコレクションによって異なる</dc:rights>			-		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
				rdf:resource	FALSE	R	0-1						-		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。	
44.8	Access rights	アクセス権	dcterms:accessRights		FALSE	MA	0-1	データベースのアクセス状態を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - embargoed access: エンバーゴ有 - metadata only access: メタデータのみ - open access: オープンアクセス - restricted access: アクセス制限有。 rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Access RightsのURIを記入する。	データベースのライセンスに関する情報はdc:rights（権利情報）を参照する。	<dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_abf2">>open access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_f1cf">>embargoed access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_14cb">>metadata only access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_16ec">>restricted access</dcterms:accessRights>		embargoed access metadata only access restricted access open access	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
				rdf:resource	FALSE	M	1						-		①語彙に対応したURIを出力（語彙別表参照）				
44.9	Thumbnail	代表画像	jpcoar:file		FALSE	O	0-1	データベースの代表画像の情報を記入する。		<jpcoar:file><jpcoar:URI objectType="thumbnail">>https://xxx.xxx.xxx.xxx/xxx/thumbnail.jpg</jpcoar:URI></jpcoar:file>			-						
44.9.1	Thumbnail URI	代表画像URI	jpcoar:URI		FALSE	O	0-1	データベースの代表画像のURIを記入する。		<jpcoar:URI objectType="thumbnail">>https://xxx.xxx.xxx.xxx/xxx/thumbnail.jpg</jpcoar:URI>			-		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。	
				objectType	FALSE	MA	0-1					thumbnail	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	

9/9